

「道徳」の評価はどうなる??

Q

道徳が「特別の教科」になり、入試で「愛国心」が評価されるというのは本当ですか？
道徳が評価されると、本音が言えなくなり、息苦しい世の中にならないか心配です。

A

道徳科の評価で、特定の考え方を押しつけたり、入試で使用したりはしません。

「特別の教科 道徳」※では、道徳的な価値を自分のこととしてとらえ、よく考え、議論する道徳へと転換し、特定の考え方に無批判で従うような子供ではなく、主体的に考え未来を切り拓く子供を育てます。

※「教科」とは、教科書を使用し、教科ごとの免許があり、数値による評価を行うものを言いますが、道徳については、数値による評価を行わず、担任が担当することから、特に「特別の教科」という新たな位置づけが設けられました。平成30年度から小学校で、31年度から中学校で「特別の教科 道徳」（道徳科）が始まります。

- **これまでの道徳の時間には、様々な課題がありました。**
 - ・ いじめなどの現実の問題に対応できていない
 - ・ 読み物を読んで感想を述べるだけで終わっている
 - ・ 教科書や評価がないことなどから、他教科に比べて軽視されがち（行事の準備を行う時間になっていることも…）
- **「教育再生実行会議」の第1次提言や中央教育審議会答申等を踏まえ、「道徳の時間」を「特別の教科 道徳（道徳科）」とし、抜本的な改善を図ります。**
 - ・ 質の高い教科書を使えるようにし、9年間を通じて適切な学習が行えるようにします。
 - ・ 例えば、小学校低学年では、人の気持ちを考えさせ、「してはならないことがあるよ」などの基本を指導します。
 - ・ その上で、道徳的な価値を自分のこととして考えるための、「考え、議論する道徳」へと転換します。
- **道徳科の学習状況や成長の様子を評価し指導の改善に生かしますが、入試には使いません。**
 - ・ 道徳科の評価については、これまで国会などでも何度も丁寧に説明しています。
 - ・ 評価は教育改善のためのものであり、道徳科では、特に、数値で評価して他の子供達と比較したり、入試で活用したりすることはしません。
 - ・ 「国や郷土を愛する態度」などの個別の内容項目の評価はしないので、「愛国心」を評価することなどあり得ません。
 - ・ 道徳科の評価は、道徳科の授業で自分のこととして考えている、他人の考えなどをしっかり受け止めているといった成長の様子を丁寧に見て行う、記述による「励まし、伸ばす」積極的評価を行います。
 - ・ このような道徳科の評価は入試にはなじまず、入試で活用したり調査書（内申書）に記載したりはしません。

※ こうした方針のもと、現在、文部科学省において有識者会議で議論を進めており、7月開催予定の会議において議論をまとめた上で、都道府県教育委員会等に周知・指導します。

（文部科学省初等中等教育局教育課程課）